

Sachiko KAZAMA Exhibition
風間サチコ展

デスロニア

26:00



2018.4.28(sat)-7.8(sun)

協力 無人島プロダクション

原爆の図 丸木美術館
Maruki Gallery For The Hiroshima Panels

Sachiko KAZAMA Exhibition

風間サチコ展

ディストピア 2680

2018.4.28(sat)-7.8(sun)



表面) 決闘! 硫黄島 (近代五種鷹参上) 2017年 木版画 (パネル、和紙、油性インク) 121 x 183 cm
裏面) 人間富嶽 2017年 水性顔料ペン、油性ラッカー、アルミ箔、襖 177 x 337 cm

風間サチコは、徹底した独自のリサーチをもとに、主に木版画による漫画風のナンセンスな表現で、現在・未来につながる歴史の暗部を彫り起こすアーティストです。そのユーモアと鋭い社会批評眼を感じさせる作品は、近年、国内外で高く注目されています。

今回発表する新作《ディストピア2680》は、優生思想の歪みに着目した風間が、構想期間4年をかけて戦前からの関係資料を収集しリサーチを続け、優生思想の持つディストピア的な理想の国家のイメージを、今まで制作した作品で最大という縦2.4m、横6.4mの巨大な木版画で表現しました。

1940年—皇紀2600年に制定された「国民優生法」、同じくその年に開催される予定だった幻の東京オリンピック。そしてその80年後に開催される2020年東京オリンピック。過去と未来の国家的イベントに思いを馳せながら、作品では架空の都市・ディストピアにて、近い未来に開催されるであろうオリンピック「ディストピア2680」の開幕式典が、虚実入り乱れたスタジアムを舞台に、皮肉とユーモアを交えて描かれます。健康至上主義の祝祭と人類淘汰の地獄を、鋭く木版に刻んだ新作にご期待ください。

また、ロサンゼルスオリンピックにおける馬術競技の金メダリストで、のちに硫黄島で戦死した悲劇のヒーロー西竹一と、近代オリンピックの象徴、近代五種のイメージが合体した機械化男爵「近代五種鷹」を描いた《決闘! 硫黄島 (近代五種鷹参上)》、精神論の先行した体育教育と軍隊をアルミホイルを貼った襖に描き、鍛えれば勝利する(夢はかなう)という幻想を表現した《人間富嶽》も展示します。

このチラシをお持ちの方は、丸木美術館入館料が100円割引となります。

●オープニングトーク

4月28日(土) 午後2時15分 参加自由(入館料別途)
出演: 風間サチコ 聞き手: 岡村幸宣(丸木美術館学芸員)
《ディストピア2680》をはじめ出品作について、制作者の風間サチコさんにお話を伺います。

●特別対談「過去、そして未来—幻の東京オリンピックをめぐる—」

6月9日(土) 午後2時15分 参加自由(入館料別途)
出演: 風間サチコ、安富歩(東京大学東洋文化研究所教授)
『満洲暴走—隠された構造』や『原発危機と「東大話法」』などの著書があり、「女性装の大学教授」としても知られる安富歩さんをお招きし、オリンピックに象徴される「健全さ」がもたらす社会の生き難さについて、対談を行います。

風間サチコ【Sachiko KAZAMA】

1972年東京都生まれ。「現在」起きている現象の根源を「過去」に探り、「未来」に垂れこむ暗雲を予兆させる黒い木版画を中心に制作する。一つの画面に様々なモチーフが盛り込まれ構成された木版画は漫画風でナンセンス、黒一色のみの単色でありながら濃淡を駆使するなど多彩な表現を試み、彫刻刀によるシャープな描線によってきわどいテーマを巧みに表現する。風間は作品のなかで、現代社会や歴史の直視しがたい現実が、時には滑稽でコミカルに見えてしまう場を捉えようとしている。そこには作家自身が社会の当事者であるよりも、むしろ観察者でありたいという意識が反映されている。作品はフィクションの世界だが、制作に際しては古書研究をするなど独自のリサーチを徹底し、現実や歴史の黒い闇を彫りおこすことで、真実から嘘を抉り出し、嘘から真実を描き出す。2016年、日本文化芸術財団「第8回 創造する伝統賞」受賞。近年の主な展覧会に「府中市美術館公開制作 69 風間サチコ『たゆまぬぼくら』」(2016年)、「光州ビエンナーレ The Eighth Climate (What does art do?)」(2016年)、「ヨコハマトリエンナーレ 2017 島と星座とガラパゴス」(2017年)など。

公益財団法人 原爆の図 丸木美術館

5月5日は開館記念日・8月6日はひろしま忌

[常設展] 「原爆の図」連作

- 「水俣の図」
- 「南京大虐殺の図」
- 「アウシュビッツの図」
- 「水俣・原発・三里塚」
- 丸木スマ水彩画等

[開館時間] 午前9時～午後5時

[休館日] 月曜日(月曜祝日の場合は翌平日)

4月28日～5月6日は無休

[入館料] 大人900円 中高生または18歳未満600円
小学生400円 団体(20名以上)、60歳以上、
チラシ持参者、比企地区在住者100円割引
障碍(しょうがい)のある方は半額

〒355-0076 埼玉県東松山市下唐子1401

TEL 0493-22-3266 FAX 0493-24-8371

[URL] <http://www.aya.or.jp/~marukimsn/>

[Eメール] marukimsn@aya.or.jp

[交通] ●東武東上線森林公園駅

南口よりタクシー10分、徒歩50分

●東武東上線東松山駅より市内循環

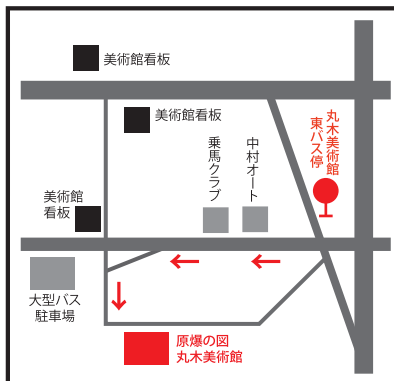
バス唐子コース(日祝運休) 約15分

「丸木美術館東」下車徒歩15分

●関越自動車道

東松山インターより小川方面10分

●東武東上線つきのお駅南口から徒歩27分、詳細は丸木美術館にお問い合わせ下さい



【市内循環バス時刻表(日祝運休)】

東松山駅東口発	丸木美術館東発	丸木美術館東行	東松山駅東口行
08:55			10:32
10:00			11:37
11:05			14:02
13:30			15:02
14:30			16:27
15:55			17:32